

## 第6回 日本赤十字社診療放射線技師会 中国・四国ブロック研修会報告

会 期 : 平成29年2月4日(土)・5日(日)

会 場 : 広島赤十字・原爆病院(1日目)・広島がん高精度治療センター(2日目)

田中 久善(広島赤十字・原爆病院)



本年度で6回目となる本研修会です。昨年度に続き2日間の研修を企画し、2日目は他施設(広島がん高精度放射線治療センター)の見学を企画いたしました。多くの施設からご参加いただき、中四国会員、講師を含め40名、当院の技師22名の総62名の出席でした。研修会に先立って、当院の施設見学を行いました。当院は現在病院再整備事業を進めており、一昨年東棟が完成し、現在既存棟の改修や取り壊し、平面駐車場の整備などが進められています。参加者の皆さんには、新しく完成した救急部門や内視鏡専用の透視室、昨年導入されたCT、MRI等すべての部門を見学していただきました。短い時間でしたが、たくさん情報交換をしていただけたのではないかと思います。



「救護活動における診療放射線技師の役割」というテーマを元に、脇谷事務副部長、戸口副会長から講演を頂きました。講演の後に会員発表として、熊本地震で実際に活動を行われた、岡山赤十字病院 秋友先生、徳島赤十字病院 米倉先生に、現場で診療放射線技師としてどのような活動を行ったのか、そこから見えた今後の課題点などを発表していただきました。最後に講師、演者の先生に、清水会長、磯田副会長を加えた6名でパネルディスカッションを行いました。パネリストの先生方には活発な討論をしていただきました。





従来、災害発生時の救護班の構成は、医師、看護師、薬剤師、主事で構成され、診療放射線技師は含まれていません。昨年おこった熊本地震では診療放射線技師の派遣要請があり、実際に熊本で活動された方からのお話は、大変貴重で興味深い内容でした。今回派遣されたお二方は、知識と経験が豊富で、管理区域や標識の設定、照射録の準備等も現地で行なわれ、円滑な業務が出来るように活動されて



ていました。今後の活動に向けて技師会で緊急時にダウンロードして持って行けるマニュアルや標識、照射録のフォーマットを用意していただけたらと思います。一日目の研修会が終了して18時30分より、情報交換会を開催いたしました。多数の方に参加していただき誠にありがとうございました。



昨年度、鳥取の味覚松葉ガニのコースが好評だったため、今年は牡蠣のコースを期待する声がありましたが、期待に応えられず申し訳ございませんでした。ですが情報交換会では、他施設の方と色々なお話をすることができ、有意義な時間を過ごせたのではないかと思います。

2日目は、広島がん高精度治療センターの方にご協力いただき、「広島県のがん治療への取り組みと市内4基幹病院との連携」と題して広島がん高精度放射線治療センター診

療放射線技師長山田聖先生の特別講演を拝聴しその後、



施設見学を行いました。



広島がん高精度放射線治療センターは広島市内の病院と連携して放射線治療を行う施設で一昨年稼働を開始した新しい施設で、昨年11月には、国際的な認定機関により、東アジアで初めて広島がん高精度放射線治療センターが世界水準の高精度放射線治療

の施設として認定され、順調に治療件数も増えてきています。治療装置も最新の装置を揃え、精度の高い放射線治療を行っています。

また、人材の育成にも力を入れられており、広島市内4病院から技師を広島がん高精度放射線治療センターに派遣し、研修を行う事でスキルアップを行っていききたいというお話もありました。

施設見学では、現在稼働している3台の治療装置をはじめ、治療計画や、経過を評価する為のCT、MRIや一般撮影装置、透視装置を見学しました。治療装置は、高精度な治療を中心に行う装置や一般的な治療を行う装置と治療方法に合わせて使い分けをされていました。参加者は、最新の装置に興味を持たれていました。山田技師長をはじめ休日にもかかわらず対応していただいた、スタッフの皆様ありがとうございました。

次回29年度は松江での開催となります。清水会長からの挨拶でもありましたが、6月には東京で診療放射線技師会学術総会が、10月には仙台で日本赤十字社医学会総会が開催されます。松江の前に東京、仙台でまたお会いできることを楽しみに研修報告を終えたいと思います。本部役員の皆様、遠方よりお越しいただいた皆様のおかげで、第6回日本赤十字社診療放射線技師会中国・四国ブロック研修会を無事終了する事が出来ました。誠にありがとうございました。

## 研修会プログラム

～テーマ～「救護活動における診療放射線技師の役割」

1日目

12:30～ 受付開始

13:00～ 施設見学

13:30～ 施設代表者会議（多目的室1）

【司会】 広島赤十字・原爆病院 山根 健二

14:00～ 開会挨拶

広島赤十字・原爆病院 田中 久善

14:10～ 会長挨拶

日本赤十字社診療放射線技師会 会長 清水 文孝

14:30～ 講演

【座長】 庄原赤十字病院 宇山 浩文

「災害救護班の組織体制について」

広島赤十字・原爆病院 事務副部長 脇谷 孔一

15:05～ 講演

【座長】 庄原赤十字病院 宇山 浩文

「震災救護活動における診療放射線業務について」

日本赤十字社診療放射線技師会 副会長 戸口 豊宏

15:40～ 会員発表

【座長】 三原赤十字病院 藤本 一雄

「救護所での診療放射線業務」

岡山赤十字病院 秋友 信男

徳島赤十字病院 米倉 広宣

16:30～ パネルディスカッション

【座長】 広島赤十字・原爆病院 神田 耕治

救護活動における診療放射線技師の役割

～福島原発事故・熊本地震を経験して～

18:30～ 情報交換会

2 日目

9 : 00 ~ 特別講演

【司会】 広島赤十字・原爆病院 野崎 浩茂

【座長】 広島赤十字・原爆病院 田中 久善

「広島県のがん治療への取り組みと市内 4 基幹病院との連携」

一般社団法人広島県医師会 広島がん高精度放射線治療センター

診療放射線技師長 山田 聖 先生

10 : 00 ~ 施設見学「広島高精度治療センター」

11 : 30 ~ 閉会挨拶

広島赤十字・原爆病院 田中 久善